

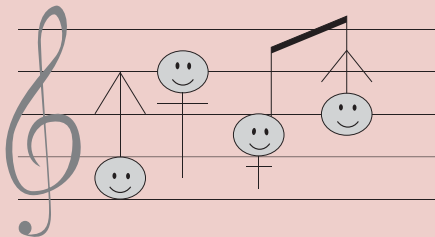
男女共同参画情報紙

# えみんぐ

きたひろしま

えみんぐ

きたひろしま男女共同参画プランの  
イメージデザイン



男女のそれぞれの音(個性)が、社会の中で  
美しいメロディとなりハーモニーを奏でていきます

笑顔とハミングを組み合わせるとは  
「笑顔でさわやかなメロディのように  
男女の共同参画を目指して」

特集！  
コミュニティビジネスってなに？



特集

# コミュニティ ビジネスってなに？

ボランティアではない  
地域貢献の仕方が知りたい！

コミュニティビジネスって  
どんな事例があるの？

まちが元気になる  
ヒントが欲しい！

身近な問題や不足しているサービスを、地域に暮らすひと自らがビジネスの手法を活用して解決することを「コミュニティビジネス」といいます。

コミュニティビジネスは、これまでの仕事のカタチに当てはまらない、多様なライフスタイルに合った働き方として、また、ボランティアではない住民によるまちづくりとして、注目されています。

今回の「えみんぐ」では、市で主催した「コミュニティビジネス入門講座」、自宅で始める起業「おうちビジネス」講演会の参加報告、北広島市内の自宅で起業する方の事例紹介を特集ページとしてまとめましたので、ご覧ください。

## コミュニティビジネス入門講座

～地域資源を活かした地域ビジネスの可能性とはじめ方～

北広島市では、1月23日に、広葉交流センター「いこ～よ」で、経営コンサルタントの水津陽子先生を講師に迎えて、コミュニティビジネスの基礎と、全国の成功事例をお話いただきました。



### あくまで“ビジネス”！ 収益性の確保が大事

コミュニティビジネスの1番のポイントは「あくまで“ビジネス”であること」です。

ボランティアによるまちづくりに持続性をプラスしていくため、ビジネスの視点を加え、対価を得るのが「コミュニティビジネス」。

自分の足で立っていけるように収益性を確保することが大事です。最初の1～2年は補助を受け

たとしても、3年目には自立して、それが持続するような仕組みをつくることにより、活動を地域に還元して行くことが出来るようになります。

このような枠組みづくりも含めて、「コミュニティビジネス」だと捉えてください。

### コミュニティビジネスを始めるために必要なこと

皆さんがコミュニティビジネスを始めるとき、最初に必要なのは「自分が何をやりたいのか明確にする」作業です。

このときにポイントとなるのが、コミュニティビジネスを成功させるには、自分の思いだけでなく、地域の住民が共感できる理由が必要だということです。

自分が「高齢者にはこんなサービスが必要だ」「子育て中のママにこんな場所を提供したい」と思っても、相手には相手の思いがあります。実際に地域を歩いて現状を調査し、当事者の要望を聞いて事業を組み立てていく必要があります。

### 人を呼び込む、モノを売る、勝利の方程式

$$\boxed{\text{①誰に何を}} \times \boxed{\text{②集客PR}} \times \boxed{\text{③コミュニティの形成}}$$

①コンセプトを明確にし、どのような消費者をターゲットにするか決めたら、看板商品（サービス）を1つ企画しましょう。看板になる商品はいくつも必要ありません。誰にどんな価値を提供する商品なのか（顧客価値）を明確にし、買いやすい価格または高くても納得できるプレミアム感のある商品を企画しましょう。

②これから事業を始める方は、いつ開業することが話題になり得るか、戦略的に考える必要があります。一番の狙い目は季節性。お正月、ゴールデンウィーク、夏休み、冬休み、クリスマス、バ

レンタインなどの行事はメディアで特集を組むため、取り上げてもらいやすくなります。

ターゲットとの情報の接点も重要です。例えば子育て中のママ向けの商品なら、保育園や学校、スーパーに協力を依頼しターゲットに確実に情報が届くよう工夫しましょう。

③コミュニティの規模が不足すると事業の採算が取れないこともあります。自分も地域で活動の基礎となるコミュニティに属し、人との繋がりを広げましょう。

（報告 棟方広報委員）

## ●北広島について参加者で話し合いました。



講座に参加された市民の皆さん、道都大学経営学部の学生さんと「北広島について語ろう」をテーマに、ワークショップを行いました。

参加者からは、北広島市の地域の課題や、それを解決する方法として、以下のことが挙げられていました。

- ・北広島市の全国的知名度を高めるため、道都大学と連携し、「教育のまち」としてPRする。

- ・地域間（東部・西部・大曲・西の里・北広島団地）の交流が少ないので、コミュニティバスを市民の手で運営する。

- ・札幌市と千歳市の間という好立地を利用して、「食べ歩きマップ」を作成し、もっと新千歳空港利用者に立ち寄ってもらう。

参加者アンケートには、「ワークショップやグループ発表の時間がもっと欲しかった」、「同じ市に住む者同士で地域づくりについては話し合った経験がなかったので良かった」等の意見が寄せられ、大変有意義な時間となりました。

## 水津先生にインタビュー

問) 人を惹きつける情報の見せ方のコツを教えてください。

答) 興味を引く画像、短い文章がポイントです。データの説明は文章よりも表やグラフですと見やすいですね。例えば、スポーツ新聞はついつい読んでしまいませんか？読みやすくつづっているのが、参考になりますよ。



講師プロフィール  
合同会社 フォーティR&C 代表  
経営コンサルタント

**水津 陽子 さん**

地域活性化・まちづくりのコンサルタントとして商店街活性化や観光振興に携わるほか、行政書士（東京都行政書士会登録、現在は退会）として数多くのNPOの設立を支援。1999年には自らまちづくりNPOを主宰する。

## 支援担当課・団体

コミュニティビジネスに関すること（コミュニティビジネス創業支援補助金・アドバイザーによる個別相談）	北広島市役所 商業労働課 ☎011-372-3311（内線625）
NPO法人の設立に関すること （NPO・公益活動団体への支援・情報提供）	北広島市役所 行政推進課※ ☎011-372-3311（内線841）
中小企業への支援、経営相談や起業支援に関すること	北広島商工会 ☎011-373-3333

※平成27年4月1日からは「政策広報課」が担当します。



# 講演会「『おうちビジネス』って何？ 女性が輝く働き方」に参加しました



日本女性会議 2014 札幌

未来の景色は、わたしたちが変える。

平成26年

10月17日・19日 札幌コンベンションセンター

札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

主催：日本女性会議2014札幌実行委員会/札幌市/公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

平成26年10月17日から、札幌コンベンションセンターで、「未来の景色は、わたしたちが変える。」をテーマに、日本女性会議が開催されました。

日本女性会議は、男女共同参画に関する国内最大級のイベントで、今年の札幌市での大会で31回目を迎えます。なんと、北海道では初めての開催です。

今回は、15ある分科会の中から、経済的自立・起業に関する講演会、「『おうちビジネス』って何？女性が輝く働き方」に参加しました。

今、趣味や特技を活かして身の丈サイズで行う「おうちビジネス」が広がりを見せています。自分の地域も大切にしたい新しい働き方、女性が切り開く多様な働き方について、一般社団法人ワールドフィールズ代表理事、畑原理恵さんの講演を聞いてきましたので、その一部をご紹介します。

## 「おうちビジネス」って何？

「おうちビジネス」とは、融資を受けたり、雇

用を生むような大きな企業とは違い、自宅で始める「おひとりさま起業」です。

「社会参加したい」、「家族を優先して仕事をしたい」など、理想のライフスタイルの実現という心の豊かさと、経済的な豊かさの両立を目的とした、小回りのきく女性向きの起業のカタチです。

家庭も自分も大切にしながらできるのがおうちビジネス。自分の得意分野で地域に合わせたビジネスが可能です。

## 始めるにあたって

最初から大きな利益を期待せず、身の丈サイズの売上を目指しましょう。たとえば、最初は一ヶ月の利益を1万円に設定して、目標を次第に上げ、10年後にはおうちビジネスだけで生活できるよう目指してみましよう。

自宅でするビジネスといっても、事業計画は会社を興す手順と変わりません。役所への手続きや銀行口座の準備、名刺などなど、事前の準備が思った以上にたくさんあります。見切り発車でお仕事を始めてしまい後悔している…という例もあります。

失敗をしないためには、起業の感覚を育てることが重要です。市場調査にマーケティング知識、財務処理をしっかりとすること。それらを全部含めた事業計画を立てましよう。

## 仲間づくりと情報交換

「おうちビジネス」はひとりなので、時には行き詰まることも。仲間づくりで上手に息抜きと情報交換をしましょう。サポートとして、「おうちビジネス応援プロジェクトサイト」がインターネット上にあり、そこでは「おうちビジネス」のノウハウを伝授してくれます。

(報告 棟方広報委員)

## 事例紹介

北広島市でも、地域の特色やライフスタイルに合った多様な働き方を実践している方がいらっしゃいます。

今回はコミュニティビジネスの中でも、自宅で開業する「おうちビジネス」に取り組むステキなお二人の話を聞いてきました。

### 本 珈琲 おつかいもの 風味絶佳(ふうみぜっか)



佐藤 亜美さん

- 開業：2012年10月
- 概要：ブックカフェ
- WEB：http://fuumizekka.com/

北広島市希望ヶ丘にある“風味絶佳”さんは、自宅1階部分を利用したブックカフェ。オープン当時から全国の雑誌・メディアから注目され、地域・ビジネス・人をつなぐカフェとして知られています。

本が大好きな店主の佐藤さん。ブックカフェという業態をとったのは、「自分が上手にできることで、社会の役に立ちたいから」だと話します。

佐藤さん自らが“Book Liaison”という肩書きで、クリニックや美容室など、さまざまな空間に置く本のコーディネートを行うほか、風味絶佳文学賞の開催など、カフェを地域の接点として、本を通じた交流、文化活動の活性化に取り組んでいます。

また、ワークショップの開催にも力を入れています。講師は、自分の得意分野を生かし、新しい肩書きで活動する方が多く、「新しいポジションを自ら切り拓くお姿にインスパイアされます」と、佐藤さん。地域と新しいビジネスをつなぐ役割を担っていると感じました。

「私もなにかやってみたい!」、「私にもできることがあるかも!」と、訪問者の可能性を引き出す“風味絶佳”さん。今日も地域を元気にする起爆剤となっています。

### SALON DE COUPE(サロン ド クープ)



遠山 幸子さん

- 開業：2014年5月
- 概要：リフレクソロジーサロン
- WEB：http://salon-de-coupe.com/

遠山さんは2014年に「自分を大切にするためのプライベートサロン」をコンセプトに、市内の自宅で“SALON DE COUPE”を開業しました。

それ以前には「子育てに忙しくてもサロンでゆっくりしたい」というママたちのために出張リフレクソロジーを行っていました。サロン勤務経験とご自身の子育て経験を活かした接客が口コミで広がり、開業時からは全ての女性へと枠を広げています。

おうちビジネスの心構えは、「心身ともに自分を整えられること、仕事をする身として揺らがないこと」だと、遠山さんは話します。特に、人に直接触れる仕事なので、施術者の良い気持ちも、悪い気持ちも、相手に伝わってしまうそう。「自分のために、は、周りのために」をモットーに、まずは自分と家庭

を大事にして、いつも健やかであるよう配慮する姿は、サロンのコンセプトと共通しています。

また、「資格を取得したから開業、ではなく、資格はあくまでツールだと考えます」と、遠山さん。お客様に届けたいのは、自分自身を通して提供する商品であり、資格は商品を生み出すツールに過ぎません。事業を成功させるには、自分の目的意識をハッキリさせ、何度もマーケティングを重ね、自分に落とし込む作業を繰り返さなければなりません。そこまでの道のりには相当の努力があったと思います。

遠山さんの明るく前向きな語り口からは「おうちビジネス」の可能性と厳しさを感じました。



## その他事業

### 図書館に特設コーナーを設置



男女共同参画週間（6月23日～6月29日）に合わせて、北広島市図書館に男女共同参画・ワークライフバランス関連図書を紹介コーナーを設置しました。

### 成人式でパンフレットを配布

新成人に対し、デートDVに関する小冊子（北海道作成「STOP DV」）を配布しました。

パンフレットは北海道のホームページでも見ることが出来ます。

(<http://www.l-north.jp/stop-dv/>)

### DV防止パネル展の実施



「女性に対する暴力をなくす運動」（11月12日～11月25日）に合わせて、DV防止パネル展を実施しました。

DVとデートDVに関する啓発パネルを展示し、アンケートには、「信

頼する友達に『あなたが悪いんじゃない？』『あなたを選んだんだから仕方ないね』と言われると、DVまで考えが行きつくわけがありません。もっと多くの人にDVの知識が行き渡ることが必要だと強く感じます。」などの意見が寄せられました。

### 女性のための法律相談

・4月30日 ふれあい学習センター

・10月22日 芸術文化ホール  
女性弁護士による女性のための法律相談を実施しました。

**平成27年度の法律相談は、4月30日（木）、10月21日（水）の予定です。詳しくは、各月の広報「北広島」をご覧ください。**

### デートDV出前講座の実施

- ・4月17日 道都大学
- ・6月30日 北広島西高等学校
- ・7月18日 北海道歯科技術専門学校

市では、デートDV防止啓発の取組みとして、札幌人権擁護委員連合会と連携して、デートDV出前講座を実施しています。

平成26年度は、人権擁護委員の三國勝美さんが講師を務め、市内の学生約1,200名に対し、デートDVの正しい知識や、加害者や被害者にならないための対等な関係の築き方についてお話ししました。



発行：平成27年3月  
企画・編集：北広島市男女共同参画広報委員 棟方 雅恵  
北広島市企画財政部行政推進課  
〒061-1192 北広島市中央4丁目2番地1  
TEL：011(372)3311 FAX：011(372)3850

URL：<http://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/hotnews/category/44.html>